

平成 29 年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	(1)幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育課程の編成をするとともに生徒主体の授業づくりに取り組む。 (2)生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動を引き出す。また両校での交流を行う。	(1) ①新校の教務規定等の検討をする。 ②より生徒のニーズにあった学習支援のあり方を検討する。 ③協同的な学び推進チームを中心に生徒が主体となる授業づくりに組織的に取り組む。 ④新校に向けて自己表現検査の変更をする。 (2)行事等で生徒の主体的な活動を引き出す。	(1) ①両校で新校の教務規定等について検討する。 ②ホームティーチャー等を活用した日常の授業支援や補習を行う。 ③協同的な学び推進チームを中心に年間計画を作成し、協同学習を取り入れた授業づくりを推進する。 ④とりたい生徒像を明確にした自己表現検査に変更する。 (2) ①生徒会を中心に生徒の主体的な活動を引き出す活動や行事を工夫する。 ②文化祭の出展内容等について工夫する。	(1) ①教務規定等の検討ができたか。 ②日常の授業支援や補習を実施できたか。 ③生徒が学び合う授業づくりができたか。 ④自己表現検査を変更できたか。 (2) ①生徒が主体的に活動する活動や行事を行えたか。 ②文化祭の出展内容等を工夫できたか。
2	生徒指導・支援	(1)部活動を活性化させ、学校生活への充実感をもたせる。 (2)一人ひとりに応じたきめ細やかな生活指導と生徒支援を行う。	(1) ①部活動の活性化やその活動を支援するための取組を進める。 ②活動成果を地域等に還元する活動を行う。 (2) ①理解に基づいた生徒指導を行い、生徒の行動変容を促す指導を目指す。 ②あいさつを促す取組を進める。 ③教育相談体制を充実し、生徒の困り感を早期に把握し適切な支援をする。 ④本校職員として必要な生徒支援に関する研修を実施する。 ⑤新校の生活指導規定や制服等の検討をする。 ⑥新校の教育相談や生徒活動について検討する。	(1) ①部活動の入部や活動継続への取組及びその活動を支援するための工夫をする。 ②部活動の成果を地域に還元する活動や中学生等を招いた合同練習など企画を考え、実施する。 (2) ①日頃の指導や行事等の事前事後の指導等を通して、自己の行動について生徒に考えさせ、行動の変容につなげる生活指導を進める。 ②生徒も参加するあいさつ運動を推進する。 ③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用し、ケース会議等で合理的配慮も含め、適切な対応や支援ができるように工夫する。 ④生徒支援に関する研修会を企画・運営する。 ⑤両校で新校の生活指導規定や制服等について検討する。 ⑥両校で新校の教育相談や生徒活動について検討する。	(1) ①入部や活動継続への取組及び活動の支援ができたか。 ②部活動の成果を還元する企画を実施できたか。 (2) ①自己の行動を振り返らせ、行動の変容につなげる生徒指導ができたか。 ②あいさつが自発的にできるようになったか。 ③適切な支援ができるように工夫できたか。 ④生徒支援に関する研修会を企画・運営できたか。 ⑤生活指導規定や制服の検討はできたか。 ⑥教育相談や生徒活動の検討はできたか。
3	進路指導・支援	生徒が将来を見通して目標を持ち、自立のための努力ができるようなキャリア教育の充実を図る。	(1)確かな目標を持つことができるように一年次から一貫したキャリア教育を実践する。 (2)進路指導をより組織的に行う体制をつくる。	(1)外部資源等も活用し、自己のあり方・生き方、職業観を醸成する系統的な学習を企画・実施する。 (2) ①スクールキャリアカウンセラーと連携した就職指導の体制づくりと環境整備を行う。 ②他学年職員及び他学年キャリア担当で3年生の進路指導をサポートする体制をつくる。 ③両校で新校のキャリア規定等について検討する。	(1)系統的な学習を企画・実施できたか。 (2) ①就職指導体制や環境整備はできたか。 ②3学年の進路指導のサポート体制はできたか。 ③キャリア規定等の検討はできたか。
4	地域等との協働	中学校、保護者、地域等に理解され、信頼される学校づくりを進める。	(1)本校についての理解を得るための情報発信を積極的に行う。 (2)地域やPTAなどとの連携を推進する。	(1) ①新校を含めた本校への理解を促すために中学校訪問や学校説明会を工夫する。 ②学校生活の様子がわかるようにホームページ等積極的な広報活動を行う。 ③在校生保護者に学校からのお知らせの内容がわかるように工夫する。 (2)PTAや地域と連携した活動を行い、相互に交流できる取組を進める。	(1) ①本校への理解は進んだか。 ②生徒の様子を伝える広報活動ができたか。 ③在校生保護者にお知らせの内容がわかるような工夫ができたか。 (2)相互交流できる取組を実施できたか。
5	学校管理 学校運営	(1)安全で清潔感のある学習環境をつくる。 (2)効率的で組織的な学校運営をめざすと同時に事故や不祥事防止に努める。	(1) ①気持ちよく学べる学習環境を整える。 ②生徒主体の防災研修や防災訓練を行う。 (2)業務の効率化と事故・不祥事防止に努める。	(1) ①日常の清掃活動に力を入れるとともに美化委員会を活用し環境美化への意識啓発を図る。 ②DIG等生徒主体の防災研修や防災訓練を行う。 (2) ①リーダー・サブリーダーを中心に学年・グループ業務が効率的に行えるように工夫する。 ②マニュアルに従っての確認を複数体制で行うとともに事故防止会議の工夫をする。	(1) ①校内美化は進んだか。 ②生徒主体の防災研修や訓練を実施できたか。 (2) ①リーダー・サブリーダーを中心とした業務が効率的に行えたか。 ②事故はゼロだったか。事故防止会議の工夫はできたか。